



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト

## その他 情報提供

---

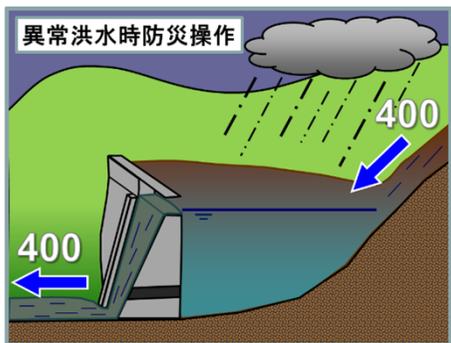
令和3年7月20日

国土交通省 近畿地方整備局  
河川部

- 緊急時に呼びかける際には、ワンフレーズでその意味が受け手に理解されるよう、関係機関への通知等において「緊急放流」を使用する。なお、ダム操作の状態に関する表現として「異常洪水時防災操作」は引き続き使用する。
- 緊急時とは、異常洪水時防災操作に移行する可能性があるとき（実施するときを含む）であり、関係機関への通知・情報提供をはじめ、関係自治体へのホットライン、報道発表・記者会見などの場面を想定。

## 緊急放流（異常洪水時防災操作）イメージ

ダムの能力を超えるような大雨によりダムが満水となり、ダム上流側から流入する水を調節することなくそのまま下流側に通過させること。ダムの操作の用語では「異常洪水時防災操作」。



## 緊急時の呼びかけ



関係自治体へのホットラインイメージ



出水時の記者会見

## ダム放流通知の変更

参考8) 通知7

ダム連絡 **緊急** ○○ダム 【ゲート操作方式の記載例】  
通知（受信確認が必要）

**【重要通知 緊急放流 ○時間前】**

令和○年○月○日○時○分  
○○ダム管理所  
発信者：○○○○

緊急に変更  
(至急→緊急)

---

緊急放流に変更

---

緊急放流に変更

＜ダム操作に関する通知＞

○○水系○○川○○ダム（○○県○○市）では、現在、防災操作（洪水調節）を行っています。  
今後、計画規模を超える洪水が予想されるため、ダムに水を貯められなくなり、○月○日○時○分頃から下流に流れる水量が増える**緊急放流（異常洪水時防災操作）**を実施します。  
そのため、洪水氾濫のおそれがあります。  
移行する場合は、おおむね1時間前にも事前通知をしますので、ダムからの連絡等に注意してください。  
※今後の降雨状況により時間が前後する可能性がありますので、ご注意ください。

警戒レベル4

- ・ダム下流の河川で水量・水位が増加し、氾濫のおそれがあります。
- ・避難指示等の措置が必要。

【ダム情報】  
現在時刻：○月○日○時○分

流入量：○○m<sup>3</sup>/s  
(1時間前より約○○m<sup>3</sup>/s 増加)

ダム水位：EL○○○○m  
(1時間前より約○○m 上昇)

貯水率(有効容量)：約○%  
(1時間前より○% 上昇)

※値はすべて連絡値

※ダム情報のホームページ インターネット<http://www.river.go.jp>

＜受信確認＞ ○○ダム管理所 TEL：○○-○○○○ FAX：○○-○○○○

発信機関	発信者	発信時刻	受信機関	受信者	受信時刻

■緊急放流について  
本連絡での緊急放流とは、ダムの能力を超えるような大雨によりダムが満水になるとダム上流側から流入する水をそれ以上貯留できなくなることから、ダムからの放流量をダムへの流入量と同程度となるように増加させ、満水に達したらダムへの流入量をそのまま下流に通過させる操作（異常洪水時防災操作）を行うことです。

# 水防災オープンデータサービスについて

## 河川カメラ画像のデータ配信を始めます!

～「水防災オープンデータ提供サービス」に新たな項目を追加～

国土交通省では、河川情報を民間企業のウェブサイトやアプリを通じた配信等に活用いただくため、「水防災オープンデータ提供サービス」において河川水位等のデータ配信事業を実施しています。

これまで提供してきた河川水位や雨量のデータに加え、新たに危機管理型水位計、河川カメラ画像の配信を開始します。

「水防災オープンデータ提供サービス」では、国が観測したレーダ雨量、雨量・水位等や全国の都道府県の雨量・水位、洪水予報等の河川情報数値データを、配信事業者（一般財団法人 河川情報センター）を通じて、民間事業者など受信希望者に対して有償（実費相当額を賄う範囲内）で配信しています。

このたび、河川の状態をリアリティをもって伝えることができる河川カメラの静止画像データ（CCTV：全国約3,000箇所、簡易型河川監視カメラ：全国約4,000箇所）や近年、新たに設置を進めてきた危機管理型水位計（全国約7,000箇所）など、新たな河川情報の配信を開始します。

（本日より受付を開始。データの配信開始は6月頃を予定しています。）

データ配信を希望する方は、以下のウェブサイトよりお申し込み方法をご確認ください。

「水防災オープンデータ提供サービス」 <http://www.river.or.jp/koeki/opendata/index.html>

今後とも、広く皆様に河川情報を活用頂けるよう、利用ニーズに合わせたデータ提供の充実に取り組んでまいります。



# 逃げなきゃコール

災害時、大切な人を守るためあなたの一声で避難の後押し

あなたと相手の  
住む地域を登録



もしもの時は!



大切な人に  
電話で連絡



近年の豪雨災害では、避難をせずに自宅で被災した方が少なくありません。あなたのひと声が大切な人を災害から守ることにつながります。

右のアプリ・サービスは、離れた場所でも、大切な人が住む地域の災害情報を確認し、あなたから大切な人へ避難の呼びかけをしましょう。

あなたの「逃げて」が命を救う

各種アプリやサービスから登録した地域の災害情報が通知されます。



詳しくは **逃げなきゃコール** 検索

## 家族からの「逃げて!」ですぐ行動を。



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト

NHK

YAHOO!  
JAPAN

au

docomo

国土交通省

- 災害から命を守るためには、身のまわりでどのような災害が起きるおそれがあるのか、どこへ避難すれば良いのかなどを事前に確認することが重要です。
- 国土交通省では、防災に役立つ様々なリスク情報や、全国の市町村が作成したハザードマップを簡単かつ便利にご活用いただくため「ハザードマップポータルサイト」を公開しています。

## 重ねるハザードマップ<sup>®</sup> (2014.6~) 様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示



重ねるハザードマップ  
～災害リスク情報などを地図上に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

ピクトグラムから選択

表示する情報を選択

洪水(想定最大規模)  
洪水(計画規模)はこちら

津波

土砂災害

道路防災情報

「洪水浸水想定区域」、  
「道路防災情報」  
及び「避難場所」を重ね合わせて、  
水害時における避難ルートを検討

## わがまちハザードマップ<sup>®</sup> (2007.4~) 全国各市町村のハザードマップを検索



わがまちハザードマップ  
～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

地図で選ぶ

まちを選ぶ

都道府県

市区町村

洪水ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

津波ハザードマップ

火山ハザードマップ

高潮ハザードマップ



令和3年5月20日から  
ひなんしじ  
**避難指示で必ず避難**  
ひなんかんこく  
**避難勧告は廃止**です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
〜<警戒レベル4までに必ず避難!>〜			
4	災害のおそれ高い	避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	災害のおそれあり	高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後被害が深刻化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ警段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待つはいけません!**

**避難勧告は廃止**されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※避難勧告がなくなり、避難指示に一本化されました

参考:色の設定

(R, G, B)	警戒レベル5 (黒) = (12, 0, 12)
	警戒レベル4 (紫) = (170, 0, 170)
	警戒レベル3 (赤) = (255, 40, 0)
	警戒レベル2 (黄) = (242, 231, 0)
	警戒レベル1 (白) = (255, 255, 255)
(C, M, Y, K)	警戒レベル5 (黒) = (30, 40, 0, 100)
	警戒レベル4 (紫) = (50, 85, 0, 5)
	警戒レベル3 (赤) = (0, 85, 95, 0)
	警戒レベル2 (黄) = (0, 0, 100, 5)
	警戒レベル1 (白) = (0, 0, 0, 0)

※警戒レベル5と4以下の間の区切りは表の一部であるため、その配色は、一覧表の枠線と同じ配色とする。表3は表の枠線がグレーであるため、区切りもグレーとしている。

※調査結果については以下のとおり記者発表をしているため必要に応じ参照されたい。  
 RGB(液晶ディスプレイ用の配色) : [http://www.bousai.go.jp/pdf/200529\\_haishoku.pdf](http://www.bousai.go.jp/pdf/200529_haishoku.pdf)  
 CMYK(紙面印刷用の配色) : [http://www.bousai.go.jp/pdf/210305\\_color.pdf](http://www.bousai.go.jp/pdf/210305_color.pdf)

# 【参考】避難情報と防災気象情報の一覧

- 警戒レベルとは、5段階に整理した「住民が取るべき行動」と「行動を促す情報」とを関連付けるもの。
- 警戒レベル相当情報とは、様々な防災気象情報のうち、避難情報等の発令基準に活用する情報について、警戒レベルとの関連を明確化して伝えることにより、住民の主体的な行動を促すためのもの。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報 (避難情報等)	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
				水位情報が ある場合 <small>(下段: 国管理河川の洪水の危険度分布※1)</small>	水位情報が ない場合 <small>(下段: 洪水警報の危険度分布)</small>	内水氾濫に関する情報	<small>(下段: 土砂災害の危険度分布)</small>	
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保 <small>(必ず発令されるものではありません)</small>	5相当 氾濫発生情報 危険度分布: 黒 <small>(氾濫している可能性)</small>	大雨特別警報 (浸水害)※2		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報※3
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 <small>(令和3年災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令)</small>	4相当 氾濫危険情報 危険度分布: 紫 <small>(氾濫危険水位超過相当)</small>	危険度分布: うす紫 <small>(非常に危険)※4</small>	内水氾濫危険情報 <small>(水位周知下水道において発表される情報)</small>	土砂災害警戒情報 危険度分布: うす紫 <small>(非常に危険)※4</small>	高潮特別警報※5 高潮警報※5
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難	3相当 氾濫警戒情報 危険度分布: 赤 <small>(避難判断水位超過相当)</small>	洪水警報 危険度分布: 赤 <small>(警戒)</small>		大雨警報(土砂災害) 危険度分布: 赤 <small>(警戒)</small>	高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報	2相当 氾濫注意情報 危険度分布: 黄 <small>(氾濫注意水位超過)</small>	危険度分布: 黄 <small>(注意)</small>		危険度分布: 黄 <small>(注意)</small>	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当				

<警戒レベル4までに必ず避難！>

市町村は、警戒レベル相当情報の他、暴風や日没の時刻、堤防や樋門等の施設に関する情報なども参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

※高齢者等以外の人、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、自主的に避難

上段太字：危険性が高まるなど、特定の条件となった際に発表される情報（市町村に対し関係機関からプッシュ型で提供される情報）  
下段細字：常時、地図上での色表示などにより状況が提供されている情報（市町村が自ら確認する必要がある情報）

※1 HP上に公表している国管理河川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)では、観測水位等から詳細(左右岸200m毎)の現況水位を推定し、その地点の堤防等の高さと比較することで警戒レベル2～5相当の危険度を表示。  
 ※2 水位情報がないような中小河川における氾濫は、外水氾濫、内水氾濫のいずれによるものかの区別がつかない場合が多いため、これらをまとめて大雨特別警報(浸水害)の対象としている。  
 ※3 水位周知海岸において都道府県知事から発表される情報。台風に伴う高潮の潮位上昇は短時間に急激に起こるため、潮位が上昇してから行動しては安全に立退き避難ができないおそれがある。  
 ※4 大雨警報(土砂災害)・洪水警報の危険度分布については、今後技術的な改善を進め、警戒レベル5に相当する情報の新設を行う。それまでの間、危険度分布の「極めて危険(濃い紫)」を、大雨特別警報 が発表された際の警戒レベル5の発令対象区域の絞り込みに活用する。  
 ※5 高潮警報は、高潮により命に危険が及ぶおそれがあると予想される場合に、暴風が吹き始めて屋外への立退き避難が困難となるタイミングも考慮して発表されるため、また、高潮特別警報は、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に高潮警報を高潮特別警報として発表するため、両方を警戒レベル4相当情報に位置付けている。  
 注)本資料では、気象庁が提供する「大雨警報(土砂災害)の危険度分布」と都道府県が提供する「土砂災害危険度情報」をまとめて、「土砂災害の危険度分布」と呼ぶ。